

令和6年6月27日

福岡医療専門学校
校長 藤瀬 武 殿

学校関係者評価委員会
委員長 下迫 勇夫

学校関係者評価委員会報告

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員会 委員 (五十音順 敬称略)

東 りか	はり灸・整骨院 Re. 庵 代表
行徳 倫子	医療法人正明会 諸岡整形外科病院・クリニック 看護部管理者
下迫 勇夫	福岡医療専門学校 非常勤講師
山中 知愛	医療法人 西福岡病院 放射線科 科長
山本 亮	山本祐司・亮司法書士行政書士事務所
渡辺 淳一	株式会社堺整骨院西代表取締役 4期卒業生
- 2 学校関係者評価委員会の審議スケジュール
 - (1) 自己点検・自己評価報告書の書面審議 (令和5年度)
 - (2) 令和6年6月15日 (土) 学校関係者評価委員会開催
- 3 学校関係者評価委員会報告
別紙のとおり

以上

I 重点目標

1 教育活動

- 令和5年度の国家試験合格率は、柔道整復師が合格率100%で全国第一位。はり師96.9%、きゅう師97.0%、理学療法士98.2%、看護師95.7%、診療放射線技師82.5%であった。結果として全資格が全国平均を大きく上回っている。卒業年次の本校独自の国家試験対策に加え、入学次からの基礎教育への取り組みの効果が出ている。
- 新型コロナ収束により、病院実習が制限なく実施されるようになった。学校行事や海外研修も再開し、教育活動は通常どおり実施されている。
- コロナ禍において新入生の退学率は上昇傾向にあったが、全校を挙げた「退学者0（ゼロ）」への取り組みにより、令和5年度の退学率は大幅に低下した。

2 実践的な職業教育

- 地域医療機関等と連携した教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保・向上に取り組んでいる。文部科学大臣が認定する職業実践専門課程の認定を受け、年2回、教育課程編成委員会を開催し、外部委員から貴重な現場の意見を集約している。
- 6学科体制を活かした多職種連携教育を推進させるため、他学科と交流する活動を行っている。
- 知識・技術だけでなく人間性も重要視して、社会人としてのマナーや身だしなみについても初年度から指導している。多様性への対応が求められる時代ではあるが、就職先によっては身だしなみ等の基準が決められている場合もある。その基準に合わせられる能力も育成してもらいたい。

3 「退学者0（ゼロ）」に向けた取組み

- 全校を挙げた取組みにより今年度の新入生の退学者率は大幅に低下した。多様性に対応した教育指導を行う必要がある。
- 学生指導の能力向上を図るため、FD・SD研修会や外部研修会への積極的な参加の継続を推奨している。

II 各評価項目

1 教育理念・目的・人材育成像

評価・意見	4段階 評価平均
<ul style="list-style-type: none">○ 理念・目的・育成人材像は詳細かつ具体的に設定されている。定められた内容に対して教職員が一丸となって取り組んでいる。○ 「退学者0（ゼロ）」の取組みを強化した結果、昨年度に比べ新入生の退学者率は低減した。FD・SD研修会のテーマにも取り上げ、各学科の好事例を共有し、教職員の意識向上に努めている。新入生に限らず在校生に対する取組みも充実させる必要がある。○ 学生指導を行う教職員の「寛容性」をもった指導をお願いしたい。	3.9

2 学校運営

<ul style="list-style-type: none">○ 運営方針は評議員会の意見を踏まえて理事会で決定している。運営方針に則り、毎週、開催される運営会議で運営状況を確認し、学科・分掌会議において具体的な方法が検討・実施されている。○ 校内ネットワークの充実を図り、教職員間の情報共有を積極的に行うとともに、電子帳簿法改正等に対するデジタル化への対応を進めている。一方、情報漏洩の危険性が高まっていることから、継続的な情報と管理の徹底を望みたい。○ 教職員の勤務時間の短縮)、男性職員の育児休暇取得など、働きやすい環境づくりを継続している。	3.8
---	-----

3 教育活動

<ul style="list-style-type: none">○ 国家試験全学科 100%合格の目標を達成できなかったが、国家試験対策課が主導して必要に応じた補講や補習を実施している。学生の資質や能力は変化していることから、短期的な目標だけでなく長期的な目標を学生自身に設定させるような指導していただくと、さらに良い結果につながるものとする。○ 教育課程の編成・実施方針については、理念等に沿いながら、行政制度の改正やテクノロジーの進歩等の社会情勢の変化に対応して適切な見直しを行っている。○ ICT化を進め、学生・教員双方の利便性を図っている。更なる利便性の向上に努めて欲しい。但し、レポート作成（文章能力・読解力）や自己判断能力を養う能力の向上にも同時に努めてもらいたい。	4
---	---

4 学修成果

<ul style="list-style-type: none">○ コロナ禍の影響を懸念し、学力を把握するための国家試験形式の模擬試験、実力試験等を各学年に実施している。その結果を教職員で共有し、授業や実習、補習等のやり方を工夫することで、学習意欲や学力の向上が図れている。○ 創立 25 周年記念事業において、校友会の卒業生と教職員や在校生との交流の場を設け、良好な関係づくりを実施している。その効果もあり、就職率は全学科 100%を達成している。実習先を確保する上でも、卒業生との良好な関係作りが求められる。○ 学校生活、国家試験、就職等、学生が抱える様々な相談ができる場をさらに増やすことを希望する。	3.6
---	-----

5 学生支援

<ul style="list-style-type: none">○ 就職・進路、学生の経済面に対する支援体制は確立されている。多様化する学生を支援するため、スクールカールカウンセラーの配置を検討してもらいたい。精神的側面を強化することが、退学者数や就職後の早期離職者数の低減につながるものとする。○ 全学生の約6割が奨学金を利用している。対応する教職員のスキルアップや人員体制の強化が望まれる。「経済的な理由で退学する」といっても、様々な背景を抱えているのではないかと。退学理由について、さらなる分析を進めてもらいたい。○ 学生の学習状況や学校生活の状況を保護者に現状を報告・確認しながら、問題発生時の早期解決に取り組んでいる。	3.9
--	-----

6 教育環境

<ul style="list-style-type: none">○ 図書館をはじめ、学習環境がしっかりと整備がされている。良い学習環境が学生の学習意欲向上につながっている。○ 防災対策については、防災マニュアルを整備して、防災訓練が適切に実施されている。安全管理についても、怪我人・病人対応マニュアルが整備されている。万が一に備え、学生・学校向け保険にも加入している。○ 海外研修を実施して、グローバルな視点を養っていくことに賛同する。その経験をどのように生かしていくかの資料があれば、さらに評価できる。	3.8
--	-----

7 学生の募集と受入れ

<ul style="list-style-type: none">○ 入学試験については、Web 出願手続きの改善が図られている。オンライン入試（A0）の対象学科に看護科が追加された。熊本・宮崎・沖縄における県外入試を実施することで、受験生の利便性向上に努めている。○ オンライン学校説明会や入試説明会の実数回数を増やししながら、本校の教育活動方針や各医療職種の特徴、入試情報を適切な情報提供報に努めている。○ 歯科衛生科を含む全6学科の学納金は、教育内容にふさわしい適切な水準に定められている。施設等の拡充、教育課程の変更に伴う臨地実習時間数の増加、並びに教材費等の価格上昇により、学納金の見直しを行う際には関係者に対して理由を明確に説明する必要がある。	3.9
---	-----

8 財 務

<ul style="list-style-type: none">○ 適正な監査の実施、情報の公表ができています。	3.9
--	-----

9 法令等の遵守

<ul style="list-style-type: none">○ 法令等の遵守は適切である。○ 学校関係者評価委員会が開催され公開されている。自己点検・自己評価報告書を基に、活発な議論及び評価がなされている。	4
--	---

10 社会貢献・地域貢献

<ul style="list-style-type: none">○ 各種イベントが再開し、世界水泳福岡や福岡マラソンの救護活動に加え、高校野球や民間のスポーツイベントなど多岐にわたるボランティア活動に参加している。特に、世界水泳福岡の活動は、異文化理解や国際交流の場となっており評価できる。○ 地域住民としては、近年学校外での学生のマナーが向上していると感じている。学校外での喫煙問題は、ほとんどなくなった。	4
---	---

まとめ

新委員を迎えての今年度の各評価項目は、平均 3.9（4段階評価）の高水準の結果であった。

令和5年度の重点目標の1つ「退学者0（ゼロ）」に向けての教職員の取り組みは、効果が顕著であり高く評価できる。次年度は、2年生以上に対するサポートも強化して欲しい。

「知識・技術・人間性を備えた医療人材を育成する」という本校の目的を教職員が理解した上で、質の高い医療従事者を地域社会に数多く輩出されることを期待している。